

ぎかいだより



第4回定例会初日、議場にて「第2回下野市議場コンサート」を開催しました。文化協会所属の「白鳳琴の会」のみなさんによる大正琴の音色が議場を包み込みました。

平成30年第4回定例会 11月29日～12月13日



| | |
|---------------|-----------|
| 第4回定例会 | |
| 平成30年度各会計補正予算 | P 2 |
| 総括質疑 | |
| 常任委員会審査報告 | |
| 一般質問 | P 7 |
| 市民と議員の意見交換会 | P13 |
| (議会報告会) | |
| 行政視察調査報告 | P14 |

平成31年2月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail: gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます



平成30年第4回定例会は、11月29日から12月13日までの15日間の会期で開催されました。

高山和典議員の辞職に伴い、議会人事及び石橋地区消防組合議会議員の補欠選挙が行われました。

市長提案（追加議案含む）により、承認1件、諮問1件、各会計補正予算案6件、条例の制定・一部改正等の計26件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

また、陳情3件を審査し、2件を不採択とし、1件を採択しました。

一般質問では10人の議員が市の対応や考え方を問いました。

一般会計補正予算

コミュニティFM放送施設整備費を計上

総額2億6254万3800円

コミュニティFM放送施設整備 7776万円

地元の情報を的確に市民に提供することや、地域活性化に役立つ放送、地域内での防災情報、災害時の生活情報を伝えるための施設。

大松山運動公園陸上競技場公認取得に伴う用具購入 1300万円

第4種公認陸上競技場（※）の認定を受けるため、障害物競走用移動障害物やハンマー、円盤、やり、囲い等の投てき用具等を購入する。



※日本陸上競技連盟による公認競技場の区分であり、フィールドトラックの舗装材、保有する施設などによって認定される。第4種競技場では加盟団体対抗競技会・記録会のほか、学校内競技会等を開催できる。

平成30年度各会計補正予算

(単位：千円)

| 会 計 名 | 補 正 額 | 補正後の予算額 | |
|-------|--------------------|-----------|------------|
| 一般会計 | 第4号 | △2億3366万8 | 262億4138万2 |
| | 第5号(追加提出) | 1300万0 | 262億5438万2 |
| 特別会計 | 国民健康保険(第2号) | 2294万2 | 56億5456万0 |
| | 介護保険(第2号) | 750万0 | 44億6005万4 |
| | 公共下水道事業(第2号) | 556万1 | 17億1879万5 |
| | 仁良川地区土地区画整理事業(第2号) | 2204万6 | 6億244万3 |

※ () は補正予算号数



人権擁護委員の推薦

3月31日をもって任期満了となる人権擁護委員について、後任として、金清隆純氏（緑）を推薦することについて了承しました。

議会人事

高山和典議員の辞職に伴い、議会選出議員並びに議会だより編集委員会委員を次のとおり選出しました。

石橋地区消防組合議員

相澤 康男議員

議会だより編集委員

石川 信夫議員



子ども医療費助成に関する条例の一部改正

下野市子ども医療費助成に関する条例について、第2条第1項中「15歳」を「18歳」

と改正することを議決し、平成31年4月1日から施行されます。この条例の施行の日以後に受ける保険給付に係る助成については旧法が適用されます。

工事変更請負契約の締結

大松山運動公園拡張整備事業陸上競技場・管理棟整備工事の工事請負契約の一部について、下野市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成18年下野市条例第53号）第2条の規定により議決しました。

管理棟の地盤改良工事、陸上競技場の土木、電気設備の追加工事による増額が主な変更理由です

| | | |
|------|-----|-----------|
| 契約金額 | 変更前 | 11億3508万円 |
| | 変更後 | 11億4779万円 |
| | | 1600万円 |

契約の相手方…戸田・小林 特定建設工事共同企業体

指定管理者の指定

■薬師寺コミュニティセンター

コミュニティセンターは、地域住民によるコミュニティ活動を行うための拠点ですので、地域住民で構成されているコミュニティ推進協議会が引き続き管理することにより、今後もコミュニティ活動に大きな効果が期待できます。指定管理者は薬師寺地域コミュニティ推進協議会です。

指定期間
平成31年4月1日～
33年3月31日（2年間）



薬師寺コミュニティセンター

■道の駅しもつけ

民間の能力を最大限に活用し、市民サービスのさらなる向上を目指し、引き続き指定管理者を指定します。指定管理者は株式会社道の駅しもつけです。

指定期間
平成31年4月1日～
33年3月31日（2年間）



道の駅しもつけ

総括質疑

30年度一般会計補正予算（第4号）

問 ふれあい館の改修工事を先送りする理由は何か。

答 本年度予定の、ろ過設備改修工事が4か月間の休館を伴うため次年度に先送りし、来年度実施予定の照明機器改修と併せて行うこととした。

問 ゆうゆう館の工事費5159万7000円の追加分の理由は。

答 温浴施設の空調設備の修繕を前倒ししたためである。

問 石橋中学校改修事業3億7587万円が大きく減額された。その理由は何か。

答 入札により2カ年で支払う契約金額が確定し、今年度中に支払う月数により算出したところ不用額が発生した。減額は翌年度に計上する。

保育園設置条例の一部改正

問 薬師寺保育園の民営化にあたり、保護者への説明、サービス等への対応を伺う。

答 保護者への説明は29年度3回開催し、民営化に反対の意見はなかった。運営法人募集要項の中で、保育の質の確保と向上を図ることとしている。

都市公園条例の一部改正

問 大松山運動公園についてサッカーのフィールド料金1時間当たり1500円の根拠は。

答 県内他市町との料金比較と、天然芝の維持管理分を考慮した。現在、中学校体育連盟8大会が決定し、その他に、小、中、高校の大会も県に申し込みをしている。サッカーについては、29年度実績で21大会市内で実施された。芝生の養生等も考慮しながら、検討したい。



石橋中学校仮設校舎
(上) 内観
(右) 外観



平成31年度から民営化される薬師寺保育園

第4回定例会の審議結果

| 議案等番号 | 付議事件 | 結果 | 坂村 哲也 | 伊藤 陽一 | 五戸 豊弘 | 貝木 幸男 | 石川 信夫 | 相澤 康男 | 奥田 勉 | 中村 節子 | 大島 昌弘 | 高橋 芳市 | 石田 陽一 | 小谷野晴夫 | 秋山 幸男 | 磯辺 香代 | 松本 賢一 | 岡本 鉄男 | 村尾 光子 |
|-------|---|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 承認4号 | 専決処分の承認を求めることについて(平成30年度下野市一般会計補正予算(第3号)) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案63号 | 平成30年度一般会計補正予算(第4号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案64号 | 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案65号 | 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案66号 | 平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案67号 | 平成30年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案68号 | 下水道事業における地方公営企業法の適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案69号 | 下野市コミュニティセンター条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案70号 | 下野市税条例等の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案71号 | 下野市子ども医療費助成に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案72号 | 下野市保育園設置条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案73号 | 下野市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案74号 | 下野市立学校設置条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案75号 | 下野市公民館設置条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案76号 | 下野市都市公園条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案77号 | 工事変更請負契約の締結 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案78号 | 下野市コミュニティセンターにおける指定管理者の指定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案79号 | 道の駅しもつけにおける指定管理者の指定 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案80号 | 小山広域保健衛生組合規約の一部変更 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案81号 | 財産の無償貸与 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案82号 | 財産の無償譲渡 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情2号 | 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情 | 不採択 | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | ● | ● |
| 陳情3号 | 患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情 | 不採択 | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● | ● | ● |
| 陳情4号 | 精神障害者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める陳情 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 追加議案 | 諮問2号 | 人権擁護委員の候補者の推薦 | 答申 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案83号 | 下野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案84号 | 下野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案85号 | 下野市職員の給与に関する条例及び下野市一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案86号 | 平成30年度一般会計補正予算(第5号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議1号 | 精神障がい者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める意見書(案)の提出 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

第4回定例会 会期日程

11月29日

本会議【開会】

(議会だより編集委員の選任、石橋地区

消防組合議員補欠選

挙、議案の説明、一部

表決)

30日

本会議(一般質問5人)

12月3日

本会議(一般質問5人)

4日

本会議(議案の質疑、委員会付託)

5日

総務常任委員会(付託案件審査)

6日

教育福祉常任委員会(付託案件審査)

7日

経済建設常任委員会(付託案件審査)

13日

本会議【閉会】

(委員長報告、質疑、討論、表決)

※今定例会の傍聴者数

66名(延べ)

常任委員会報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務 地域活性化事業債 (30年度一般会計補正予算)

問 コミュニティFM整備事業に地域活性化事業債を選択した理由を伺う。
答 合併特例債のほうが有利であるが、他に単独事業が見込まれ、コミュニティFM整備については、対応する起債、地域活性化事業債を充てるものである。

総務 小山広域保健衛生組合規約の一部変更

問 石橋地区のごみ処理について、規約の変更後もクリンパーク茂原に搬入を続けるごみの種類は何か。いずれはすべて小山広域に移行していくのか、先行きを伺う。
答 規約変更に伴い、不燃系のごみが本市内のリサイクルセンターに搬入されることになり、燃えるごみと可燃系の粗大ごみが引き続きクリンパーク茂原で処理される。将来的には小山広域で共同処理する方向で考えているが、焼却炉の処理能力や地元への説明等、様々な課題があるので、慎重に進めていく必要がある。

総務 コミュニティセンター条例の一部改正

問 下野市コミュニティセンター条例の一部改正(休館日の設定)についての条例改正の理由を伺う。
答 来年度から指定管理者の契約を見直す中で、地元協議会とも検討し、新たに休館日を設けるため条例改正を行う。なお、利用頻度を十分に考慮して設定している。

経済建設 農業水利施設保全対策負担金 (30年度一般会計補正予算)

問 負担金はどこから入り、何の事業についてのものか伺う。
答 本市と上三川町に受益者をもつ田川にある成田堰のシンダーからオイルが流出したため、その改修費を受益面積割により、上三川町から負担していただくものである。

経済建設 土地区画整理事業費 (30年度仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算)

問 物件移転補償2200万円についての内容を伺う。
答 物件移転補償の2件分である。1件は倉庫と工作物、もう1件は家屋と工作物、立竹木の補償である。事業自体は事業費ベースで73%ほど進んでいる。

経済建設 公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

問 石橋北部負担区の世帯数を伺う。
答 上古山地区が約250世帯、下古山北地区が約40世帯の合計290世帯である。

教育福祉 障がい児給付事業 (30年度一般会計補正予算)

問 扶助費3830万円は放課後等デイサービス等に係る給付費であるが、何人分の予算であるか伺う。
答 今年度上半期は1031人分、月平均で180人分前後であり、上半期の増加分と下半期を含めたものである。

福祉

妊娠サポート事業

(30年度一般会計補正予算)

問

妊娠サポート事業の「風しん予防接種」の対象者を伺う。

答

妊娠を希望する女性とその配偶者が対象であり、風しん単独の予防接種には3000円を、MRという風しんとはしかの混合ワクチン接種には5000円を助成している。

福祉

学童保育事業

(30年度一般会計補正予算)

問

庁用器具購入の内容は。

答

国分寺小学校敷地内の建物で学童保育をしているが、児童がふえ手狭になった。国分寺小学校内で利用できる部屋を学校と相談したところ、体育館のミーティングルームが使えることになった。必要な備品を購入する。



手狭になった国分寺小の学童保育室

陳情の審査結果

以下の陳情3件は全て、教育福祉常任委員会に付託され、協議を行いました。

難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情

【趣旨】2015年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行された。

①認定基準が厳しくなった。元の基準に戻してほしい。②自己負担の上限を以前の基準に引き下げてほしい、など。

【審査の経緯】委員から「少子高齢化が進み、医療費は増加する一方である。財源確保に課題がある」「対象の疾病数が56から330になった。以前と同様に助成費を払うと財源が逼迫する」との意見が出ました。

【委員会表決の結果】「不採択すべきもの」

本会議表決の結果 不採択

患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情

【趣旨】費用の心配なく医療を受けられるように、窓口負担の軽減を求める。

【審査の経緯】委員から、「高齢者の中にも高額所得者がいる。所得に応じた負担をすべきである」「日本が誇る国民皆保険制度を維持し、次世代に引き継ぐためには応分の負担はやむをえない」との意見が出ました。

【委員会表決の結果】「不採択すべきもの」

本会議表決の結果 不採択

精神障害者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める陳情

【趣旨】わが国では、憲法第14条で「法の下の平等」を謳っており、平成25年12月には「障害者の権利に関する条約」の批准が承認されている。

【審査の経緯】委員から「現在、精神障がい者が医療費助成制度の対象となっていないのは、関東地方では東京都と栃木県のみである。東京都でも平成31年1月1日から助成対象となる。栃木県だけが遅れている状況であり、県に対し意見書を提出することに賛成である」などの意見が出ました。

本会議表決の結果 採択

精神障がい者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める意見書

重度心身障害者医療費助成制度は、重度心身障がい者に対し、医療費の一部を助成することにより、重度心身障がい者の福祉を増進することを目的とした制度である。

憲法第14条では「法の下の平等」をうたっており、我が国の障がいのある方を取り巻く社会情勢については、平成25年4月に「障害者総合支援法」が施行され、また、12月には、国際連合で採択された「障害者の権利に関する条約」の批准が国会で承認されている。

また、「障害者差別解消法」も制定され、県においては「障害者差別解消条例」もつくられた。

このような状況にありながら、身体・知的障がい者に適用されている栃木県重度心身障害者医療費助成制度では、精神障がい者は除外されている。

よって、下野市議会として、栃木県に対し、精神障害者保健福祉手帳1、2級保持者に対しても、栃木県重度心身障害者医療費助成制度の適用対象とするよう、要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30(2018)年12月13日

栃木県下野市議会

栃木県への意見書

市政をたたく

一般質問

一般質問は市ホームページで動画を公開しています。

第4回定例会では、10名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。



坂村 哲也 議員

【今回の質問】

1. グローバル社会に向けた、他都市との協力の推進
2. 下野市における、子どもたちの未来のための教育について

問1

香川県高松市やドイツ・ドイツヘルツタールとの交流について、本市の今後のプロジェクト、また新たな都市との交流を行う考えはないのか。

答1

市長 高松市、ドイツヘルツタールとの交流を今後も推進し、市民間の交流事業を積極的に支援していきたい。大阪府八尾市から道鏡サミットの招待を受けている。また英語圏

問2

アジア圏等、他都市との交流の機運が高まれば、積極的に新たな交流を結んでいきたいと思う。

問2

下野市の教育方針について、教育長の思いを伺う。

答2

教育長 学校、家庭、地域の絆を大切にし、未来の市民である子供たちが力強く歩んでいける力を身につけさせなければならぬ。小・中一貫教育を推進し、これまで進めてきた教育

問2

のさらなる充実に加え、英語教育、道徳教育、キャリア教育、情報教育等を充実させ、世界で活躍できる広い視野を持った児童・生徒の育成を目指す。

問2

小・中一貫教育の期待される効果を伺う。

答2

教育長 学びや育ちの連続性の確保による学力の向上と、思いやりの心を育てる等、児童・生徒の人格形成の成果を特に期待している。



『下野市の未来を育む』

奥田 勉 議員

【今回の質問】

1. 旧石橋総合病院、石橋庁舎跡地利用
2. 児童生徒の通学路の安全対策



問1

旧石橋総合病院跡地利用等については、地元住民の方はどうのような施設ができるか、大変興味を持って見守っているところである。今後の具体的なスケジュールを伺う。

答1

市長 旧石橋総合病院跡地の複合施設は、平成31年度に設計、建設条件を示し、32年度に事業者を募集し整備着手、34年度に供用開始できるよう進めている

く。石橋庁舎跡地は、地域の防災機能を考慮したイベントに特化した広場にする。

問2

児童・生徒の安全対策としては、ボランティアに頼るばかりでなく、スクールガードリーダーの増員ができないか伺う。

答2

教育次長 1中 学校区に1名の県の補助規定がある。現在3名なので1名の増員はできるものとして検討

問2

通学路の危険箇所点検の結果を伺う。

答2

教育長 子供が一人になった時に人、車が少ない、路上に死角があり、犯罪が見えにくい、連れ込まれやすい場所がある、明かりがないなどが確認された。その結果、見守り活動の強化、警察官によるパトロール、青パトの強化などの対策が検討された。

相澤 康男 議員

【今回の質問】

1. 南河内東体育館の利便性向上に向けて伺う。



問1

南河内東体育館、南河内東公民館、吉田保育園の公共施設の集まるゾーンでは多くの催し物がある。また体育館は市内で唯一の屋内フットサル場であり、数多くの試合、練習試合がある。吉田村まつりの開催日には、今年は2500人の来場者、車の総台数900台の実績である。3施設の総駐車台数を伺う。

答1

市長 このエリアの駐車スペース

問1

誘導ラインを示して使いやすくできないか。また、駐車場の拡張を考えていないのか伺う。

答1

市長 現地を確認したところ、車道外側線や駐車スペース

問1

スのライン等に劣化が見られ、利用者の皆様に大変不便をかけている状態にあるということがわかった。駐車場スペースの取り方や敷地内道路構成及び駐車スペースの配置計画をまとめ、安全性や利便性向上を図っていく。駐車場の拡張については、吉田村まつりのような将来的に発展が期待できるイベントの対応も含め、費用対効果を考慮し検討していく。



南河内東公民館周辺



建物の解体が終わった石橋庁舎跡地



石川 信夫 議員

【今回の質問】

1. 高校生までの医療費無料化について
2. いじめ・不登校問題について



五戸 豊弘 議員

【今回の質問】

1. 就学援助の充実
2. 教員の労働環境の改善

答1 市長 子育て家族を支援する環境づくりの推進、移住促進、市の活力増進につながる有効な施策である。

問1 市長は、来年度より高校生の医療無料化を公約に掲げているが、国や市が面倒を見る福祉国家ではなく家族の絆を大切にすることで目指すべきである。高校生までも無料化する必要はないのではないか。

問2 2017年度いじめ不登校が過去最多となった。現代の

問1 こういう政策を進めると増税に向かう。子育て世代の負担軽減を考えるならば、どうしても税金をもっと安くできないかを考えるべきではないか。

答2 教育長 いじめによる転校不登校いじめ放置の報告は一切ない。中心概念はいじめの防止、早期発見、適切な解決に導く学校の指導体制の一層の強化。

問2 健康管理について、健康管理については、精神疾患患者が社会的に増加しているので健康診断や、自己診断によるストレスチェックを実施している。教員数の増減については、国の方針に従う状況である。

答1 教育長 認定基準は、各自治体で定めている。認定にあたっては、申請理由のほか、申請者の生活状況、児童・生徒の学校での様子などから総合的に判断し、毎年度2月に申請書

問1 今、日本の子供たちの貧困が社会問題となっている。就学援助の認定基準額が引き下がったことに対して、下野市の対策は講じられているのか伺う。

問2 教職員の、長時間労働の原因と健康管理について伺う。

答2 教育長 児童、生徒、保護者の価値観や多様な期待に応えるために、公開授業の準備、各種研修会への出席、授業代替案の作成、部活動などに時間をさかれています。これらの業務を遂行していることが、勤務時間を長く引かせる一因と考えてい

る。出勤記録の集計では適正な時間管理に努めている。



いじめ防止ポスター



部活動の風景

中村節子 議員

【今回の質問】

1. 市役所の芝生広場を憩いの場に
2. 障がい者の公共施設の個人使用料減免
3. 市民総スポーツ”ひとり1スポーツ”を目指して



問1

新庁舎が開庁して2年半。庁舎前の市民広場ではイベントが4回開かれたが、まだまだ、市民の憩いの場とはなっていない。ピクニックテーブル、ベンチなどを置くことはできないか。

答1

市長 イベントの開催、緊急時・被災時の使用などを考えて、現在のフクベ型のベンチと植栽にした。市民にとって気軽に立ち寄れる

問2

障がい者が個人で市内の体育施設等公共施設を使う時の減免を検討できないか。

答2

市長 ふれあい館、さらら館などは障がい者の個人利用にも減額措置がある。その他の施設は団体利用の全額減免があるが、個人でも気軽に利用していた

問3

①三王山ふれあい公園のウォーキング(ランニング)コースを夜も使えるように照明をふやせないか。②市庁舎の周りに周回できるウォーキングコースを作れないか。

答3

市長 ①公園利用者や地域住民の意見を聞きながら検討していく。②安全面などから難しい。

村尾光子 議員

【今回の質問】

1. 「持続可能な開発目標(SDGs)」にどう取り組むのか。
2. がん患者の医療用ウィッグ等購入への助成制度創設を。



問1

SDGsは、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2015年の国連サミットで採択された開発目標である。政府は「アクションプラン2018」を決定し公表している。本市はどのように取り組むのか。

答1

市長 国は、2016年5月に内閣総理大臣を本部長、全閣僚を構成員とするS

問2

親しみやすい場所になるよう、市民の意見を聞きながら慎重に検討していく。

答2

SDGs推進本部を設置し、同年12月には国としての「持続可能な開発目標実施指針」を決定した。この中では、国が優先的に取り組む8つの課題と具体的施策を定め、自治体の役割も指摘している。また、本年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」でも、地方自治体のSDGs取組推進が位置付けられている。

問3

①三王山ふれあい公園のウォーキング(ランニング)コースを夜も使えるように照明をふやせないか。②市庁舎の周りに周回できるウォーキングコースを作れないか。

答3

市長 ①公園利用者や地域住民の意見を聞きながら検討していく。②安全面などから難しい。

地方創生に向けた自治体SDGsの推進について



平成29年12月

内閣府地方創生推進事務局

内閣府の「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」では2018年11月に、自治体の取組を推進するに当たっての施策の基本的方向について提言を取りまとめる予定としている。



市役所前の市民広場



大島 昌弘 議員

【今回の質問】

1. 道の駅しもつけ
2. ドローンについて

答 1 市長 ①駐車場の拡張について検討を始める。

②体験型施設整備計画の考え方を持っているか
③道の駅周辺の新4号国道の清掃について

問 1 全国の道の駅は2018年4月25日現在1145駅となり、道の駅間の競争が激しくなっている。本市の道の駅について伺う。
①道の駅の駐車場整備について
②体験型施設整備計画の考え方を持っているか
③道の駅周辺の新4号国道の清掃について

答 1 市長 ①駐車場の拡張について検討を始める。

②体験型施設整備計画の考え方を持っているか
③道の駅周辺の新4号国道の清掃について

問 2 全国的に、産業、農業、観光、自治体などでドローンを活用する事例が多くなっているが、本市の取り組みについて伺う。
①ドローンの活用に向け

②体験型施設を含む施設整備を含め、今後県や関係団体と調整を図り施設整備の拡大について具体的に検討する。
③国土交通省宇都宮国道事務所や栃木県土木事務所に申し入れる。

答 2 市長 ①業務に活用について検討する。
②平成29年度に1人受講、30年度2人の受講を予定。
③有効と考え検討を進める。
④活用方法や協定締結を検討し、職員自ら操作できるように措置を講じる。

問 1 公園の健康遊具の設置状況について伺う。
市長 市が管理している公園は136カ所、遊具を設置している公園は101カ所ある。健康器具は、6カ所の公園と遊歩道に23基設置されており、大松山運動公園には新たに10基健康器具を設置する。健康器具は順番に運動することで全身運動が可能となり、効果が発揮されるものと期待している。利用者の意見やニーズを把握し、意見を取り入れているのか伺う。



空撮用ドローン



高橋 芳市 議員

【今回の質問】

1. 市民ニーズに対応した公園施設の充実

問 1 公園の健康遊具の設置状況について伺う。
市長 市が管理している公園は136カ所、遊具を設置している公園は101カ所ある。健康器具は、6カ所の公園と遊歩道に23基設置されており、大松山運動公園には新たに10基健康器具を設置する。健康器具は順番に運動することで全身運動が可能となり、効果が発揮されるものと期待している。利用者の意見やニーズを把握し、意見を取り入れているのか伺う。

答 1 市長 三王山ふれあい公園の計画に際しては市民懇談会、小学生を対象としたアンケート、パブリックコメントを実施して本設計を設計し、官民協働での公園整備を行った。大松山運動公園遊具設置についても、小学生にアンケート

問 1 公園施設の充実に向けた今後の方針について伺う。
市長 市民の公園に対する要望は多種多様であるため、公園施設長寿命化計画に従い、更新や補修を計画的に行う予定である。健康器具の設置については、地区公園などの規模、公園整備の際の利用者や地域の意見を伺いながら充実に図ってまいりたい。

答 1 市長 三王山ふれあい公園の計画に際しては市民懇談会、小学生を対象としたアンケート、パブリックコメントを実施して本設計を設計し、官民協働での公園整備を行った。大松山運動公園遊具設置についても、小学生にアンケート

問 1 公園施設の充実に向けた今後の方針について伺う。
市長 市民の公園に対する要望は多種多様であるため、公園施設長寿命化計画に従い、更新や補修を計画的に行う予定である。健康器具の設置については、地区公園などの規模、公園整備の際の利用者や地域の意見を伺いながら充実に図ってまいりたい。

答 1 市長 市民の公園に対する要望は多種多様であるため、公園施設長寿命化計画に従い、更新や補修を計画的に行う予定である。健康器具の設置については、地区公園などの規模、公園整備の際の利用者や地域の意見を伺いながら充実に図ってまいりたい。



けんこう広場の健康遊具

認知症サポーター養成講座を受講しました



10月17日、下野市議会の全議員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターの証しとして「オレンジリング」を取得しました。超高齢社会を迎え、私たちにとって認知症は他人事ではないと思います。認知症についての理解を深め、私たちができることを考える良い機会となりました。

受講を希望される市民の方は、下野市高齢福祉課基幹型地域包括センター（0285-32-8904）へお問い合わせください。



議会の動き

11月

- 2日 小山広域保健衛生組合議会定例会
- 5日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 6日～7日 教育福祉常任委員会行政視察
(大阪府守口市・河南町)
- 14日～15日 全国市議会議長会研究フォーラムin
宇都宮
- 16日 総務常任委員会・経済建設常任委員会
- 19日 教育福祉常任委員会
- 22日 議会運営委員会・議員全員協議会・地域包括
ケアシステム構築に関する勉強会・議会活性化
特別委員会
- 26日 議会だより編集委員会
- 29日～12月13日 第4回定例会
(29日 議場コンサート)

12月

- 11日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化
特別委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 18日～19日 小山広域保健衛生組合議会行政視察
- 20日 石橋地区消防組合議会定例会
- 28日 議会だより編集委員会

1月

- 21日 議会だより編集委員会
- 22日 県央6市議会議長会議
- 28日 議会だより編集委員会
- 29日～30日 議会運営委員会行政視察(広島県坂町)
- 31日 八代市議会行政視察来庁
～議会運営について～



磯辺香代 議員

【今回の質問】

1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスについて
2. 建設工事契約約款について

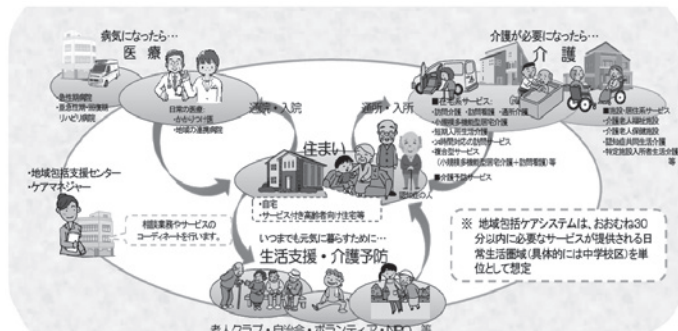
問1

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは第6期高齢者保健福祉計画に見込み量が掲載されたが、現行の第7期計画(平成30～32年度)にはサービス量も利用者数も見込まれていない。このサービスは「単身・重度の要介護者であっても在宅を中心とする住み慣れた地域で生活を継続できる」として市が構築に取り組んでいる地域包括ケアシステム

答1

市長 第6期計画では県内ですら数力所なので、下野市では実施困難との意見があった。第7期では新規参入を希望する業者がなかった。利用者のニーズ

は把握していないが、平成29年度に夜間・早朝の訪問介護14件、訪問看護7件の実績があった。第8期計画は、平成31年度に事業者意向調査を行い、平成32年度に計画策定委員会にて検討する手順だ。介護と医療の連携を図りながら、よく検討し次期計画に盛り込んでいきたい。



地域包括ケアシステムの姿

一般質問

市民と議員の意見交換会 (議会報告会)を開催しました

10月27日(土)10時から12時まで、市役所3階の会議室で行われました。今回の内容は、①議会活性化特別委員会の報告②市民の皆さんとの意見交換でした。3つの常任委員会ごとに分かれ、希望の委員会を市民の方に自由に選んでいただきました。最初の挨拶、①が終わり、②では30分の意見交換、10分の休憩をはさんで、もう一度、30分の意見交換。別の委員会に移っても、そのままでも良いことにしました。参加者は30名。1つの委員会に、6人の議員と約10人の市民が集まり、活発な意見交換が行われました。最後に、委員会ごとに、どのような意見が出たのか発表しました。



意見交換の内容(抜粋)

総務常任委員会

- 水道水の問題は生活に関わる問題。住民と議員が一緒になって研修する機会を作ってもらいたい。→議会で取り組んでいく
- 政務活動費を取り入れるべき。実費後払いで用途を明確にすること。→議会活性化特別委員会で検討する
- 東海第二原発の再稼働の陳情については、特別委員会が設けられたそうだが、どれくらいの時間をかけて、どのような内容だったのかを知りたい。→概要録を作成し、ホームページに掲載する
- デマンドバスは乗り継ぎが不便。ピーク時に予約ができない。改善してほしい。→執行部と協議する

経済建設常任委員会

- 破産した会社が資材を置き去りにしている。何とかならないか。→社会福祉協議会での法律無料相談を紹介
- スマートICは決定したのか。逆走が起こるのではないか。→ラウンドアバウト方式(交差点の一種。信号がないのが大きな特徴)を説明
- 電柱や公園のトイレが老朽化している。見回りをして早期の改修を。→執行部と協議する

教育福祉常任委員会

- 小山市南部にある休日夜間診療所は遠い。市内に作れないか。→小山広域保健衛生組合に市民からの要望を伝える。医師確保のために市独自で予算措置をしている宇都宮市などの先進事例を調査する
- 自治医大と連携を図るべき。→議会として意見交換会を行うことなどを検討していきたい
- 廃校利用に関して市民へ十分に説明をしてほしい。→執行部と協議する

アンケートからのご意見 (アンケートは参加者30人中、27人にご協力いただきました)

- グループ分けしたので、議員と身近に話げできた
- 初めて出席した。色々な意見を聞き、勉強になった
- 議会からの説明は知らない。意見交換の時間をもっととるとよい
- 時間が短すぎる

今回、初めての試みの、少人数のグループ分けについて、「身近に、ざっくばらんに話せたのが良い」という意見がある一方、一部屋で行ったため、それぞれの声が耳に入り、「聞き取りづらかった」という声も聞きました。議会からの説明を聞くよりも、とにかく自分たちの考えを聞いてほしい、という市民の気持ちが強く感じられた会でもありました。いただいたご意見は、①議会で取り組むもの②執行部と協議するものに分けました。時間がかかるものもありますが、良い方向に向けて進むよう頑張っています。

総務常任委員会

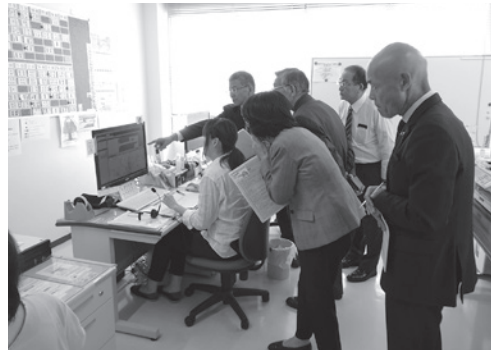
10月22日～23日

災害に強いまちづくりについて（新潟県三条市）

三条市は平成16年と23年の2度にわたり大水害に見舞われ、避難情報伝達に対して伝達方法を屋外拡声器、インターネット、戸別受信機、FMラジオ（緊急割込み放送）等とし、多様化しています。結果、16年水害時避難情報を得た市民は21.9%であったが23年水害時には93.3%の市民が避難情報を得ていました。災害時に職員、自治会、住民が的確な行動がとれるよう、マニュアル作成、誰が何をするか明示しています。本市は幸いなことに大きな災害がなく安全安心なまちを強みとしています。災害はいつ起きるかわからないということを改めて考え、防災・減災対策をより一層推進していくことが求められます。

公共交通について（新潟県燕市）

燕市の公共交通はデマンド交通、循環バス、弥彦燕広域循環バスの3つが運行しています。前年比で3公共交通全て利用率がアップしています。要因としては利用者の詳細なデータを収集、分析、改善を図ってきめ細かく対応していること。デマンドバスは、予約センターでオペレーターがGPSでデマンドバスの現在位置を確認しながら即時予約を受け付けていることなどが利用率のアップにつながっています。本市においても設定エリアの検証、利用者データを十分に分析して利用者の満足度を高める必要があります。また循環バスを望む声もあり本市にふさわしい公共交通がのぞまれます。当委員会としても今後更に調査研究を進めていきたいと思えます。



経済建設常任委員会

10月23日～24日

ユニバーサル農業について（長野県小布施町社会福祉法人くりのみ園）

社会福祉法人くりのみ園は、平成9年に田園福祉（自然農業×障がい者雇用×社会貢献）を目的とし、長野県小布施町に設立されました。自然卵の養鶏から農作業を開始し、徐々に農業活動を拡大。平成25年に「NATURAL GARDEN くりのみ」を開設し、現在は2事業所において農業経営が行われています。くりのみ園は、農福連携といわれる以前から、田園福祉と称して障がい者の農業による自立を目指してきました。農薬等を一切使わない自然循環型農業は、環境保全や健康な身体を育むうえで大切であるとの理事長の信念が感じられ、感銘を受けました。



長野駅善光寺口駅前広場整備事業（長野県長野市）

長野駅善光寺口駅前広場は、平成9年の長野新幹線開通とその翌年の長野オリンピック開催に合わせ、駅の橋上化や東西自由通路などが整備されました。その後、社会情勢や市民ニーズの変化により、二次交通との連携強化、都市景観やユニバーサルデザイン化、長野らしさの演出などが求められました。そのため北陸新幹線の延伸開業に合わせて、交通結節点（ハブ駅）としての交通機能の充実と利用者の利便性向上を図るとともに、県都の“かお”にふさわしい玄関口として再整備されました。長野市は長野県の県都であり、新幹線駅を有し、年間観光客が700万人です。一般会計予算規模1,499億円（H30年度当初予算）、善光寺口駅前広場整備事業に53億円をかけた長野市と単純に比較はできませんが、自治医大駅前広場整備計画を進める本市として大いに参考になりました。

行政視察調査報告 ②

教育福祉常任委員会

7月12日(有限会社アップライジング)、11月6日～7日

障がい者雇用について(宇都宮市 有限会社アップライジング)

(有)アップライジングは、中古タイヤ等の販売、修理サービスを行う専門店であり、積極的に障がい者を雇用しています。障がい者に一人ひとり真剣に向き合い、障がいを理解し、障がい者はその特性や能力を活かしながら、やりがいを持って楽しく元気に働いていました。経営者の信念と情熱があれば、小さな企業でも障がい者雇用に結び付けることができることを痛感しました。

義務教育学校について(大阪府守口市 さつき学園)

さつき学園では、体育祭など様々な機会を捉えて異学年交流授業を実施しています。前期・後期の合同遠足では6年生がリーダーを任せられ、自信が生まれ、7～9年生が6年生をサポートすることで思いやりの心が育まれていました。また、児童生徒が目を見てハイタッチをしながら挨拶する「アイタッチ運動」など、不登校児童生徒を生まない環境づくりを行っています。施設面では、行動しやすいように廊下や階段を色分けしている点や、広い廊下を利用して机と椅子を取り付け、交流スペースとするなど大変参考になりました。本市においても、平成34年度の南河内中学校区義務教育学校開校に向けて、さらなる研究をしながら、よりよい義務教育学校となるよう準備されることを望みます。

農業・福祉の連携について(クボタサンベジファーム(株)かなん農場)

クボタサンベジファームでは、水耕栽培により生産した野菜を近隣市町の学校給食食材として出荷しています。従業員24名のうち障がい者を15名雇用し、特別扱いせず、一人ひとりの特性を考えて労働環境の整備を行っており、離職も少ないとのこと。障がい者雇用にあたっては企業側の理解が最も重要であり、一人でも多くの障がい者が就職できるよう、本市においても研修会や説明会などの場を設けることが必要であると感じました。

議会運営委員会

10月4日～5日

議会活性化について(三重県伊賀市)

伊賀市議会では議員定数24人であり、5つの常任委員会と議会運営委員会、広報委員会が設置され、正副議長及び常任委員会正副委員長任期は1年とのことでした。議会基本条例を制定して以来、議会運営に関して、現在でも試行錯誤を続けており、議会改革への思いを感じました。議会報告会、出前講座、議員活動から収集した政策課題について、精査・意見集約から発議案作成、委員会付託、討論、採決までを議員提出と委員会提出に区分し、政策立案のフローを作成しています。

議会報告会の課題として、マンネリ化や参加者の固定化、また、市政に対する要望の場となってしまっていることから、より幅広い世代の市民に向けた意見交換を行うため、市議会タウンミーティングを開催していました。

議会改革の取り組みについて(三重県四日市市)

四日市市議会では議員定数は、条例定数34人、現数33人であり、6つの常任委員会と議会運営委員会、広報広聴委員会のほか、防災対策条例調査特別委員会、障害者差別解消条例等調査特別委員会、議会改革特別委員会が設置されていました。平成23年度から通年議会を導入しています。正副議長等の議会役員及び委員の任期が1年であり、正副議長の任期が1年であることはデメリットが多く、検討課題となっていました。常任委員会では、議員が年間白書を作成し引継ぎを行う取り組みがあり、本市議会の参考になればと考えています。政策研究会では政策提案に結び付けるものとして、会派や委員会を超え、関心を持つ議員が自由に参加し、熱心に調査研究、討議がなされました。

伊賀市議会、四日市市議会いずれも議会報告会や議員活動で収集した課題を政策へと育てていくフロー図がありました。今回の視察で得た成果を活かし、本市議会に必要な部分を精査し取り入れ活用していくことが必要と考え、議会の活性化に向けて取り組みを進めていきたいと考えます。



議会広報の先進地を視察しました

議会だより編集委員会では、10月29日に石川県加賀市議会、30日に白山市議会を視察しました。

加賀市

加賀市議会では、平成28年度から議会だよりモニター制度を実施していました。モニターは10人。年4回発行される議会だよりを読み、その都度、意見・提案記入用紙を提出し、年1回、正副議長・広報部会と意見交換をします。モニターからの意見により行われた改善としては、「8ページ2色刷りを16ページフルカラーに変更」「一般質問に『議員のひとこと』を追加」(議員の感想がストレートに表現されています)などです。また、QRコードがいくつも載っていて、詳しい情報はホームページで閲覧するというスタイルも参考になりました。読者の感想、意見を直接聞くことができるモニター制度は是非、下野市の議会だよりでも取り入れていきたい取り組みでした。

白山市

白山市の議会だよりで、まず目を引くのは、表紙のイラストです。市内の短期大学の美術学科に依頼し、季節感のあるイラストを描いてもらっています。また、イラストを多く使い、フルカラーであるものの、決して派手な色づかいではなく、センスが感じられる紙面です。他に大きな特徴は、「市民の声」として「市議会に期待すること」をテーマに市民の意見を掲載していることです。市内28地区からバランスよく人選しているということでした。市民の声を載せることは、下野市議会でも検討すべきことだと思います。



白山市の議会だより(表紙)→

第1回定例会 (3月議会) の予定

※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、市ホームページでお知らせいたします。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|------------|------------|------------|-----------------------------|------------------|----|
| 2月10日 | 11 | 12 | 13 | 14 議会運営委員会 | 15 議会だより編集委員会 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 本会議(開会) | 22 本会議 | 23 |
| 24 | 25 本会議 | 26 本会議 | 27 本会議 | 28 常任委員会 | 3月1日 常任委員会 | 2 |
| 3 | 4 常任委員会 | 5 常任委員会 | 6 常任委員会 | 7 常任委員会 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 本会議(閉会) 議会だより編集委員会 | 15 | 16 |

議会だより編集委員会

委員長 中村節子
副委員長 大島昌弘
委員 坂村哲也
委員 五戸豊弘
委員 石川信夫
委員 相澤康男

次号(No.52)は5月15日に発行します

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約12.4円です。

12月定例会では10名の一般質問があり、各地域の見落とされがちな問題が出てまいりました。今回は議会開会前の白鳳琴の会のコンサートありがとうございました。議会に向けて皆さんリラックスできたことと思います。

今回、議会だより編集委員会では石川県加賀市、白山市にて議会だよりの研修を受けてまいりました。両市においても市民と議会の距離を近くしようと議会だよりの紙面を工夫していることが理解できました。市民と議会が身近になりますよう本市の「議会だより」も親しまれる紙面づくりに努力してまいります。(相澤康男)

編集後記

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。連絡先:(43)1236